

「症状」でわかる病気 No.6

「胸やけ」と「胃部の激痛」

ストレスが関与する場合もある！？

平山洋二・胃腸病院院長

病気予防は、第一に日常の健康管理、次いで「丹羽SOD様食品」

健康の管理には、病気に関する知識が欠かせません。本シリーズでは、さまざまな症状と病気との関連を掲載し、読者の方が適切な治療の機会を逸することなく、早期の精密検査をするための資料を提供いたします。なお、本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載（医学ジャーナリスト・松井宏夫著）」から主に引用いたしました。

また、食生活や運動などの健康管理だけでは、さまざまな病気を予防できないことも事実です。そこで、病気の90%に関係するといわれる活性酸素対策に、「丹羽SOD様食品」を摂取するの一方策です。

日本SOD研究会がおとどけする  
健康増進と病気・老化予防のQ&A

No. 30



Q：「胸やけ」は、どのようなメカニズムで発症するのですか？

A：「胃では食べ物を消化するために胃液が分泌されます。その胃液が過剰な状態、つまり、胃酸過多のときに胸やけ症状がみられます」と胃腸の専門病院として最も歴史のある胃腸病院（東京・新宿区）の平山洋二院長（53）はいう。もちろん、脂っこい物を食べなくても胸やけを感じることもある。「胃液の量をコントロールする自律神経

てんぶら、フライ、カツといった脂っこい物や甘い物などを食べ過ぎたときに体験することが多い、あの症状。みぞおちから胸骨の裏にかけて焼けるような感じ、ときとして痛みを伴うような感覚が胸やけである。

Q：ストレスで、なぜ「胸やけ」が発症するのですか？

A：ストレスには肉体的と精神的の二つがあり、精神面は胃・十二指腸

Q：「胸やけ」のメカニズムは？

A：ストレスでも「胸やけ」が「脈が乱れる」とは？

ストレス性の「胃部の激痛」

専門医の精密検査の必要性は？

用語の解説

逆流性食道炎 寄生虫

に大きく影響することはもはや異論

このQ&Aは、病気の90%に関係するといわれる活性酸素、活性酸素を除去する丹羽SOD様食品など、さまざまな症状や疾患について、最新の情報を掲載しています。定期的に発行されますので、毎号お集めになりますと、健康管理ノートができます。このQ&Aは、最寄りの丹羽SOD様食品取扱店でお求めになれます。

はなかるう。では、肉体的ストレスは……。

「ちょっと動くだけでも腰が痛い。このような状態は大きなストレスで、胃液の分泌を過剰にします。その結果として、胃に粘膜のただれを起す胃炎、胃・十二指腸潰瘍(かいよう)、さらには胃から逆流した胃液が食道に炎症を起こしてしまう**逆流性食道炎**などができるのです。」

**逆流性食道炎**

逆流性食道炎は治りにくく、厄介な病気です。」

逆流性食道炎に有効な治療薬がないのではない。胃液の分泌を抑えるプロトンポンプ阻害剤が有効とされ、使われている。が、作用が強すぎるため、今の日本では連続使用は8週間しか認められていない。多くは薬の服用をやめると、逆流性食道炎が再発してしまう。

「胃と食道の境には噴門があり、軽く閉じていて逆流を防いでいるのですが、その締めまり具合の悪い人がいます。そうい

う人は胃液の逆流が起りやすいのです。」  
それは、先天性の場合や加齢以外に、腹圧が胃を持ちあげている場合、肥満、妊婦、便秘、ヘルトを強く締めている、重いものをよく持ちあげ



生活改善で胃液の逆流防く  
胸やけ  
胃液の逆流を防ぐには、胃液の分泌を抑えるプロトンポンプ阻害剤が有効とされ、使われている。が、作用が強すぎるため、今の日本では連続使用は8週間しか認められていない。多くは薬の服用をやめると、逆流性食道炎が再発してしまう。

るなどが腹圧が強いケースだ。

薬で酸を抑え、生活改善で胃液の逆流を防ぐことが大切だ。

●: ストレスによる「胃部の激痛」の事例を紹介してください。

A: 出版社に勤めるKさん(37)は結婚7年目。マイホームを夢見て奥さんと共働きで、せつせと預金。やっと頭金の1200万円に手が届き、喜んでいた矢先に、Kさんをシヨッキンクな出来事が襲った。

仕事柄不規則な毎日のKさんが、その日も深夜に帰宅すると、奥さんの姿はなく、ダイニングテーブルの上に、奥さんのサインと判の押された離婚届が置いてあった。  
後日、奥さんと話し合いの機会を持ち、「すれ違いの夫婦生活は、もういや!」と強い言葉を浴びせられた上、奥さんは若い男性と付き合っているという。

その日の夕方、Kさんは突然、胃部の急激な痛みに見舞われ、さらに、吐き気があり、物が食べられなくなっていました。「過度のストレスが急激な胃液の分泌につながり、胃の粘膜を

びらんさせたり、傷ついたりするのです。急性胃粘膜病変といわれています」というのは、平山院長。

Q: 「胃部の激痛」を引き起こす、胃の病的な変化の説明を教えてください。

A: この急性胃粘膜病変には、次のようなものがある。

**急性胃・十二指腸潰瘍**

胃や十二指腸の炎症や潰瘍などが含まれ、「胃粘膜全域に及ぶ広範なびらん性変化や、巨大な潰瘍ができている場合はかなりの激痛を起し、出血が多いと血を吐くこともある」という。

**胃・十二指腸潰瘍穿孔**

特に、胃・十二指腸潰瘍穿孔(せんこう)では、緊急手術を要する場合もある。そういう急性病変が、わずか数時間でできるケースも実際にあるので、まさしく「急性」である。

Q: 胃の障害以外で「胃部の激痛」を引き起こす病気があればを紹介してください。

A:このほか、胃部の激痛としては、たとえば次の病気を疑うこともあります。

**急性膵炎**   **急性胆嚢炎**   **心筋梗塞**

これらの病気も疑うべきである。

「胃の周辺臓器の痛みというのは、感じる本人には膵炎も胆のう炎も、胃から発する痛みと受け取ってしまふんです。さらには、心筋梗塞の場合も、胃の痛みと感ずる人もいます。だから、ちよつと変だぞ！」

と思つた場合は、まず**は心電図を先にとりま**す。心臓は生死にかかわりますから、そちらを優先します。「このときの心電図で、実際に命拾ひした患者が少なくない。」

**寄生虫のアニキサス**

「ときには、急性胃炎のような激痛で、原因は寄生虫のアニキサスといふこともあります。この場合は、内視鏡で胃の内部をのぞき、鉗子(かんし)でアニキサスをつまみ出すと、劇的に痛みは治まってしまふ。」

**胃部の激痛**

離婚届  
「症状はわかるが原因は？」

急性の粘膜病変

「胃の周辺臓器の痛みというのは、感じる本人には膵炎も胆のう炎も、胃から発する痛みと受け取ってしまふんです。さらには、心筋梗塞の場合も、胃の痛みと感ずる人もいます。だから、ちよつと変だぞ！」

「この急性粘膜病変とは、急性膵炎・十二指腸潰瘍(かいじょう)・急性胆嚢炎などが含まれる。胃粘膜全層に炎症が広がり、急性変化や、巨大な潰瘍ができて、出血がひどい場合もよくある。」

特に、胃・十二指腸潰瘍(かいじょう)では、緊急手術を要する場合もある。その場合、急性の粘膜病変が、わずかの時間で発生するケースもある。

「急性は、急性胃切傷(きゅういせき)による激痛で、原因は寄生虫のアニキサスといふこともあります。この場合は、内視鏡で胃の内部をのぞき、鉗子(かんし)でアニキサスをつまみ出すと、劇的に痛みは治まってしまふ。」

このほか、胃部の激痛として、急性膵炎(すいえん)、急性胆嚢炎(かんし)、心筋梗塞(こうそく)なども疑うべきである。

「胃の周辺臓器の痛みというのは、感じる本人には膵炎も胆のう炎も、胃から発する痛みと受け取ってしまふんです。さらには、心筋梗塞の場合も、胃の痛みと感ずる人もいます。だから、ちよつと変だぞ！」

この場合、まず心電図を先にとり、心臓の生死にかかわりますから、そちらを優先します。

このときの心電図で、実際に命拾ひした患者が少なくない。」

松井宏夫著「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ刊)、「クスリで病気は治らない」(みき書房刊)、「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ刊)などがあり、大きな反響を得ています。

本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載(医学ジャーナリスト・松井宏夫著)」から主に引用いたしました。同誌には、健康に関する記事が連載されています。関心がある方は一読をお薦めいたします。

**SOD様食品の開発者・丹羽勲負博士のプロフィール**

昭和37年、京都大学医学部卒業。医学博士。丹羽免疫研究所所長。土佐清水病院院長。活性酸素とSODの研究を臨床家として国内はもちろん、世界的にも最も早くから(1970年代から)手掛け、この分野の研究の世界的権威。SODなどの生体防御の研究論文が“Blood”を始めとする著名な英文国際医学雑誌に続けて発表され、その数は50編を超えます。国際医学専門誌(Biochemical Pharmacology)への投稿論文の審査員もしています。



国内では、ベーチェット病やリウマチ、アトピー性皮膚炎の治療・研究に長年従事し、多くの難病の原因を活性酸素の異常から解明し、これら難病の治療に関して、SOD様作用食品等の低分子抗酸化剤や抗癌剤を自然の植物・穀物より開発し、大きな治療効果を上げています。

一般向けの著書に「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ刊)、「クスリで病気は治らない」(みき書房刊)、「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ刊)などがあり、大きな反響を得ています。



**命と健康のために SODロイヤル**

SODロイヤル(丹羽SOD様食品)は、丹羽博士が長年をかけて開発した、天然の植物・種子を素材にした天然製剤で、副作用などの心配は皆無の健康食品です。

国際製法特許取得

### 用語の解説

#### 逆流性食道炎の対策

胃液の逆流は立っているときには起こりにくく、横になると起きやすい。だから眠るときには、上半身を多少高くして眠るのがいい。

また、胃袋の構造上から、体の右側を下にして眠ると胃液は十二指腸に流れやすく、逆流防止に結びつく。

そのほかには、便秘を解消し、食事では脂肪の多い物、酒・たばこ・コーヒーなど刺激物は避けるようにするとよい。

#### 寄生虫アニサキスが

#### 引き起こす激しい胃痛

アニサキスは生のイカ、サバ、サケなどに寄生しており、これらを生で食べることで感染する。

激痛は食べた直後から数日の間に起こるが、やはり、半日以内が最も多い。半透明の乳白色で小さなアニサキスが胃の粘膜に入り込むことで、激痛を引き起こしている。

### 丹羽博士の著書

丹羽博士の、一般向けの著書の一部を紹介いたします。活性酸素と病気、SODについて、平易に書かれています。

- 「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピー99%治癒の証明」(日本テレビ放送網(株))
- 「丹羽博士の正しい『アトピー』の知識」(廣済堂(株))
- 「SOD製剤が癌治療に革命を起こす」(廣済堂(株))
- 「クスリで病気は治らない」(みき書房(株))
- 「活性酸素で死なないための食事学」(廣済堂(株))



バックナンバーについて  
日本SOD研究会では、これまでに発行した「Q&A」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。  
ご希望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会へまでご連絡ください。

SOD-IST (ソディスト) は丹羽療法における疾病治療・予防を目的とした患者さんや愛用者の方々の体験から生まれました。まさに治療が偶然見つけた素肌への贈り物です。SOD様ナチュラルフーズ・SOD様ナチュラルクリーム・天然の低刺激粹練石鹸の組合せにより“体の内部・外部から美を養う”をコンセプトに誕生したのが丹羽SOD美容法[SOD-IST]です。



[当商品には合成着色料・合成保存料は使用していません]

製造・発売元

株式会社フジ流通システム  
埼玉県富士見市鶴馬3489-1

お問い合わせ先